



茨城の土木遺産

石岡第一発電所 (北茨城市)

明治44年(1911年)竣工

大北川の溪谷沿いに建設された水路式発電所。日立鉱山の近代化に伴う電力需要の増加に対応するため、当時、日立鉱山の工作課長であった小平浪平氏が発電や送電計画に携わり、宮長平作氏が構造物の設計や工事を担当した。構造物の構築は、レンガ造りが主流であった時代に、黎明期の鉄筋コンクリート技術を積極的に導入し、発電所本館や導水路橋、サージタンクなどを建設。我が国最初の本格的な鉄筋コンクリート造りの発電所であり、平成22年、近代化遺産として重要文化財に指定された。

主な内容

- ▼ 関東地方整備局、県と意見交換会を開催
- ▼ 中川原常任理事が旭日双光章を受章
- ▼ 鳥インフルエンザ防疫活動に尽力
- ▼ 時間外労働の上限規制で勉強会

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

スライド条項の弾力運用要望

関東地方整備局、県土木部と意見交換会

本会は10月24日、国土交通省関東地方整備局と茨城県土木部との意見交換会を水戸市の県立青少年会館で開催しました。本会は関東整備局に対して、酷暑期の歩掛改正や特例監理技術者の活用、スライド条項の弾力的な運用などを提案。生産性向上や働き方改革の推進へ協議を行いました。



廣瀬局長



田村県土木部長



石津会長



生産性の向上や働き方改革の推進へ協議を行いました

あいさつで関東整備局の廣瀬昌由局長は、国土強靱化などの施策に触れながら「本年度はインフラDXの挑戦の年。新たな取り組みを推進していく。地に足が着いた取り組みも進めてまいりたい。働き方改革も連携して推進していきたい。有意義な意見交換を」と述べました。

田村央県土木部長は県政の取り組みを紹介し、「今後も地域の守り手である地域建設業を支援していく。意見交換で課題を共有することは、連携を図る上で重要なこと。さらに連携を深めてまいりたい」とあいさつ。

茨建協の石津健光会長は、地域建設業の役割や課題に触れ、「担い手の確保など従来からの課題に加え、ICT施工、インフラ分野におけるDXの推進など大きな課題に直面している。防災・減災、国土強靱化への取り組みにも対応してまいりたい。実りある意見交換に」と望みました。

その後、関東整備局が本年度予算の概要と上半期の執行状況、働き方改革・担い手確保への取り組みなどを説明。

本会からは活動状況として、災害時の対応活動、鳥インフルエンザや豚熱の防疫活動、ICT講習会、県内公共工事の一斉休工日の設定、担い手確保活動などを紹介。地域になくてはならない団体として生産性向上や働き方改革に取り組んでいることをPRしました。

意見交換では本会が①酷暑期の歩掛改正、標準作業量の補正②特例監理技術者の育成、活用③総合評価方式における難工事功労の対象期間の拡大④スライド条項の弾力的な運用一を提案。関東整備局が回答しました。

自由討議では、関東整備局が県内で進めている主要事業について進捗状況などを紹介。茨建協は盛土規制の動きについて質問しました。

酷暑期は歩掛や標準作業量改正を 特例監理技術者の活用促進が必要

意見交換会の解答

酷暑期における歩掛改正及び 標準作業量の補正

【関東整備局】夏季の過酷な作業環境下における作業効率の低下状況の確認を行い、歩掛補正の必要性も含め、本省において昨年度から猛暑日における歩掛補正の検討を実施している。

特例監理技術者

【関東整備局】総合評価落札方式の配置予定技術者の評価項目における「同種工事の工事経験」「同種工事の工事実績」は、監理技術者や現場代理人として従事した工事に限らず、監理技術者補佐や担当技術者として従事した工事も加点の対象としている。

総合評価落札方式における難工事施工 実績、難工事功労表彰の評価

【関東整備局】評価項目の「難工事施工実績」「難工事功労表彰」の対象期間は1年間だったが、配置予定技術者は専任制によって加点を受けられる機会が限られるため、令和4年度より対象に現場代理人を追加し、評価期間を4年間に変更した。

スライド条項

【関東整備局】単品スライドの請求は工期内で協議期間及び契約変更手続き期間が確保できるよう、工期末の2カ月前までが原則。請求日は受発注者間で適切な協議や手続期間を確保できれば弾力的な運用も可能で、個別に担当事務所と調整をお願いする。

中川原勇 常任理事が旭日双光章を受章

おめでとうございます

令和4年秋の叙勲で本会の常任理事で常総支部長の中川原勇氏（石塚産業㈱代表取締役専務）が、建設業振興功勞として旭日双光章を受章されました。まことにおめでとうございます。益々のご活躍を祈念いたします。

中川原氏は昭和24年2月生まれの73歳。秋田県立大曲農業高等学校農業土木専攻科を卒業後、株木建設㈱に入社。以来、建設業一筋に歩まれています。

昭和54年には1級土木施工管理技士を取得し、現場代理人として高い評価を受けました。昭和55年には石塚産業㈱社長から強く請われて入社。昭和56年に同社取締役役に就任されました。土木建設部門の充実や積極的な営業活動を展開し、平成元年に代表取締役専務として土木建設部門の経営責任者となりました。

本会では平成6年に理事、平成28年に常任理

中川原氏の話

「この度は、石津会長をはじめ諸先輩、業界関係者の皆様方の温かいお力添えのおかげで受章することができました。心より厚く感謝申し上げます。この受章を励みに、今後とも建設業界発展、地域貢献に尽力しながら精進してまいります」



事に就任。支部では平成6年に石下支部副支部長、平成28年からは常総支部長を務められており、建設業の資質向上と発展に尽力し、良質な社会資本形成に多大な貢献をされています。

令和2年7月には建設事業関係功勞として国土交通大臣表彰を、令和3年11月には雇用改善優良事業所として茨城県知事表彰を受賞されています。

鳥インフルエンザ防疫活動に尽力 「地域の安全・安心を守る」 使命果たす

かすみがうら市で発生した高病原性鳥インフルエンザに対して、本会では11月5日から防疫活動に尽力しています。土浦支部をはじめとして本会12支部が3交代で活動を行いました。「地域の安全・安心の守り手」という本会の社会的使命を果たしています。

防疫活動は、茨城県と締結している「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づき、県からの要請によって実施しているものです。県や市町村、他の関係団体と共に活動に協力しています。

5日から8日までは土浦支部が殺処分などに協力。9日からはその他の11支部が3交代で作業に携わりました。土浦支部では埋却処分にも協力しています。

防疫活動について石津健光会長は、作業に携わっている関係者に最大限の感謝を表すとともに「地域の建設業団体として『地域の安全・安心



防疫作業に協力しました

を守る』という使命を果たしてまいりたい」と話しています。

本会では、昨年2月に城里町で発生した鳥インフルエンザで防疫活動を実施。今年4月には石岡市と城里町で発生した豚熱の防疫活動にも協力しています。

時間外労働の上限規制で勉強会

本会は11月4日、建設業における時間外労働の上限規制に関する勉強会を水戸市の協会本部で開催。石津健光会長など幹部が必要な取り組みや法律等の説明を受け、理解を深めました。

説明を行ったのは、茨城労働局労働基準部監督課の三浦かをり主任地方労働基準監察監督官。

講義では労働時間や休憩時間のとらえ方などを研修。三浦氏は労働時間に関する職場でのルールづくりが大切と強調しました。また労働時間制度、36協定の内容などを学びました。

質疑では「民間工事への適用が課題」などの意見がありました。



平成31年4月に改正労働基準法が施行され、建設業においては令和6年4月から時間外労働の規制が罰則付きで適用されます。

県警と合同救助訓練

— 重機で土砂を排除 —

本会は10月28日、茨城県警察本部との合同救助訓練を水戸市東大野のストックヤードで実施しました。大規模土砂災害が発生したことを想定し、県警と結んでいる災害協定に基づき重機を使用した土砂排除を行い、埋没した車両からの救助を行いました。

救助訓練には水戸支部の会員企業が参加しました。水戸支部の秋山進副支部長は「本会は災害協定に基づいて速やかに出動する体制を普段より整えている。今後も『地域の守り手』としての使命を果たせるよう活動していきたい」と話しています。



公共建築工事積算で講習会



本会と経済調査会は10月14日、共催による公共建築工事の積算講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。令和4年度の積算基準等の改定内容などを研修するとともに、工事費の構成を踏まえた積算の演習にも取り組み、理解を深めました。

土木工事積算セミナー開催



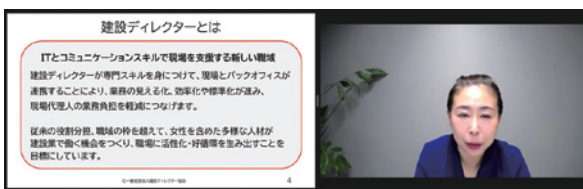
本会は10月27日、茨城県土木施工管理技士会や経済調査会との共催による土木工事積算セミナーを水戸市の県建設技術研修センターで開催。積算業務や工事の実行予算策定に携わる技術者約40人が参加し、発注者積算の仕組みや手計算による実務演習などを行いました。

労働安全などを研修 オンラインでセミナー



本会は10月19日、労働安全を中心とした研修会をオンライン形式（Zoom ミーティング）で開催。労働災害の現状や安全管理の基本と事例、メンタルヘルス対策、安全衛生関連の法改正、リスクアセスメント、外国人労働者対策などについて学びました。

建設ディレクターを学ぶ 人財開発委員会、建女ひばり会が企画



本会は、建設現場を支援する「建設ディレクター」についての講習会を10月17日にオンライン形式で開催。業務内容や効果などを研修しました。建設ディレクターはITのスキルで現場業務を支援します。講習会は人財開発委員会と建女ひばり会が企画しました。

あすなろの郷工事に債務109億円

県11月補正予算案

県は11月の補正予算案をまとめました。そのうち再整備計画を進めているあすなろの郷セーフティネット棟建設に係る工事費として限度額109億5,078万8,000円の債務負担行為（令和5～6年度）を設定しました。

あすなろの郷は、2階建て施設（本館）と平屋建ての施設を整備します。総延べ床面積は約1万7,900㎡で、本館はRC造一部S造延べ約1万2,500㎡。1階部分に、あすなろの郷病院の機能を移転させ、2階部分を入所スペースとします。平屋建て施設はW造、床面積約5,400㎡。入所スペース機能を持たせます。

補正予算案ではそのほかに9件の債務負担行為を組みました。

小規模埋立等の届出義務付けへ

県が条例改正案

茨城県は、土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の改正を予定しています。主な改正内容は、市町村条例の対象外の小規模埋立て等（300㎡未満等）を行う者は、新たに県への届出を義務付けるものです。

5,000㎡未満の埋立て等は市町村が条例で規制していますが、小規模（300㎡未満等）は市町村の判断で許可の対象外となっています。そのため県が必要な指導を行うことを可能とするため条例を改正するものです。

そのほか土砂等の埋立て等を行う者等に対する書面の交付と携帯義務化などを創設します。

条例改正案は11月県議会の議決を経て、令和5年6月1日からの施行を予定しています。

建設業労働災害
防止協会茨城県支部

令和4年度 1月～3月講習会開催予定表

月	日		曜日		講 習 名	会 場	備 考
1	12	13	木	金	職長・安全衛生責任者	鹿嶋勤労文化会館	
	16	17	月	火	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	18		水				(実技)
	19	20	木	金	職長・安全衛生責任者	茨城県建設技術研修センター	
	23		月		フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	25	26	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	27		金				(実技)
	30	31	月	火	建築物石綿含有建材調査者講習（一般）	茨城県建設技術研修センター	
2	2	3	木	金	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	7		火		刈払機取扱作業	建荷協研修センター	
	8	9	水	木	職長・安全衛生責任者	茨城県建設技術研修センター	
	15		水		フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	20	21	月	火	建築物石綿含有建材調査者講習（一般）	茨城県建設技術研修センター	
	22		水		足場の特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	24		金		施工管理者のための足場点検実務者研修	茨城県建設技術研修センター	
3	1	2	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	3		金				(実技)
	9	10	木	金	足場作業主任者	鹿嶋市商工会館	
	16	17	木	金	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	23	24	木	金	足場作業主任者	建荷協研修センター	

県表彰受賞の4社22名称える

土浦支部長表彰

土浦支部（小林伸行支部長）は10月28日、つくば市のホテルグランド東雲で支部長表彰式を開催。茨城県表彰を受賞した4社3人、土浦土木事務所表彰を受賞した技術者19名を称えました。小林支部長は「労を労うため支部として表彰する。さらなる飛躍を」と話しました。

※受賞者（敬称略）

- ◆知事表彰＝千代田建設(株)、(株)高田工務店
- ◆知事表彰主任（監理）技術者＝豊崎隆一（市村土建(株)）、古渡達（千代田建設(株)）
- ◆知事特別賞表彰「若手・女性技術者活躍賞」主任（監理）技術者＝千葉佳子（日東エンジニアリング(株)）
- ◆土木部長表彰＝日東エンジニアリング(株)、市村土建(株)
- ◆土浦土木事務所長表彰＝千葉佳子（日東エンジニアリング(株)）、来栖秀幸（(株)折本工業）、齋藤久雄（(株)

霞工業）、齋藤誠（(株)齊藤建設）、宮本和幸（佐々木建設(株)）、宮田成功（(株)大鶴）、田中祐介（豊藤建設(株)）、中嶋基博（白田組土木(株)）、田寄雄士（池田技建工業(株)）、山田裕一（(株)大和田建設）、柴山敏明（(株)成財基業）、高田稔美（(株)高田工務店）、仁平博（東亜工業(株)）、小森昌佳（星田建設工業(株)）、上野徳則（(株)ムラノ）、青嶋武巳（(株)新みらい）、矢作知儀（成島建設(株)）、田中卓（原信田建設(株)）、浅野正浩（谷原建設(株)）



水戸支部



離職予防対策学ぶ

水戸支部（下田德行支部長）は10月21日、水戸市建設業協同組合と建築講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。新入社員の離職予防として上司や先輩の関わり方のコツを聴講し、意識や対策への理解を深めました。下田支部長は「講演をよく聞いて学び、役立てていただきたい」と期待を寄せました。

土浦支部



安全管理講習会を開催

土浦支部（小林伸行支部長）は10月26日、茨城県土浦土木事務所（大石直人所長）と共に建設現場の安全管理講習会を支部会館で開催。労働災害防止や労働時間上限規制、ヒューマンエラーなどを学びました。小林支部長は「これから年度末で工事が増える。安全対策をしっかり学んでほしい」と呼び掛けました。

土浦支部



54人が献血ボランティア

土浦支部（小林伸行支部長）は10月5日、献血ボランティア活動を実施。支部会館前に献血車を配置し、54人が貴重な血液を提供しました。土浦支部の献血活動は4回目。小林支部長は「血液が不足していると聞いており、会員一丸となって献血に協力していく。今後も地域のために継続していきたい」と話しています。

境支部



安全講習会で議論交わす

境支部（新井孝支部長）は10月27日、茨城県境工事事務所（野島泰久所長）と安全衛生講習会を同事務所で開催。座学講習、事故事例を用いたワークショップで主な発生要因と再発防止対策を話し合う初の試みを行いました。新井支部長は「他社の意見を聞きながら、安全管理に努力してほしい」と呼び掛けました。

令和4年度

茨城県技術者表彰受賞者

(10月表彰分)
※受賞者(企業名)
敬称略

【潮来土木事務所長表彰】

- ◆茂木教生(水郷建設(株))
- ◆内野勝美(株)大地
- ◆桃川明夫(常総開発工業(株))
- ◆高須茂(株)根本工務店
- ◆田崎翼(株)田崎技術
- ◆鈴木勇二(株)鈴木工務店
- ◆坂東旨乙(幸武・小若JV)
- ◆山田靖夫(株)二輝建設
- ◆戸塚俊之(株)森内建設
- ◆戸田慎一(株)鹿島建設
- ◆小沼克夫(株)根本工務店
- ◆山本高二(株)ホソヤ工務店

- ◆下重元弘(株)椎名工務店
- ◆齋藤成久(株)藤田工務店
- ◆大森裕一郎(大森建設(株))
- ◆神永昭夫(株)大子造園土木
- ◆本田義生(牛木建設(株))
- ◆和地末男(株)椎名工務店

※現場代理人表彰(感謝状)

- ◆圓谷祐輝(株)大藤組
- ◆菊池貴洋(大森建設(株))

【県北農林事務所長表彰】

- ◆寺門力也(株)梅原工務店

【県南農林事務所長表彰】

- ◆志賀力(株)高田工務店
- ◆真家孝一(市村土建(株))

- ◆石島美樹雄(原信田建設(株))
- ◆関根望(成島建設(株))
- ◆林下光則(常総土木工業(株))
- ◆金澤富夫(成島建設(株))
- ◆入江義男(株)赤塚土木興業

【鹿行農林事務所長表彰】

- ◆安藤宏(株)波崎建設
- ◆今泉敏幸(株)羽生工務店
- ◆岡野功(松崎建設(株))
- ◆金田明雄(株)光建
- ◆久保田整太郎(高橋建設(株))
- ◆菅谷よう子(有菅谷工務店)
- ◆田口一樹(藤枝建設(株))
- ◆宮内幹広(大勝建設(株))

【大子工務所長表彰】

※主任(監理)技術者表彰

令和4年度
建設マスター受賞者

(本会関係)

【建設マスター】

- ◆内山宙洋(潜水土、三国屋建設(株))
- ◆橋本直行(土工、橋本建設(株))

市町村等が増加
上半期の県内公共工事

東日本建設業保証(株)茨城支店は、前払金保証実績から見た令和4年上半期(4月～9月)の県内公共工事(施工場所が県内)の動向をまとめました。件数は3,646件で前年同期比で6.1%減ですが、請負金額は2,567億2,149万4,000円で同19.3%増。請負金額は大型工事があった独立行政法人等が大幅に増加し、市町村や地方公社も増えました。

知ってほしい、より安心の制度。

掛金負担が軽減
契約者割戻金制度がスタート
手厚い補償
保険金区分合計
最高5,000万円
労働者と企業の
リスクをカバー
今すぐ、ご加入を!

法定外労災補償制度
建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

労務管理事業
労務安全衛生推進事業
労務管理(労務管理)事業
労務安全衛生推進事業
労務管理(労務管理)事業
労務安全衛生推進事業

建設共済保険 建設業福祉共済団

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112
URL <https://www.kyoseikaidan.or.jp/>

11月は建設共済保険加入促進月間です

会員の動向

〈代表者変更〉

▽潮来支部
(株)富山園建設 富山 義雄 → 富山 和子